

知って備えよう！上下水道局の防災知識！！

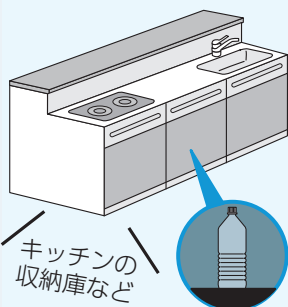
昨今、地震や台風、大雨による水害など、自然災害が頻発しており、大規模な災害が発生した際にはさまざまなライフラインが寸断されることも想定されます。「いつも使っている水が使えない！」その様な非常時に活用できる「水」に関する防災知識を紹介します。

普段から自宅で水道水を保存しましょう

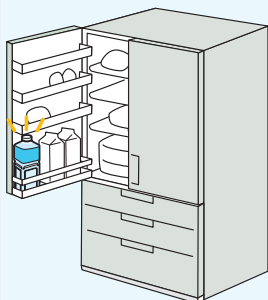
水道水を保存する場合は、フタで密閉できる清潔な容器の口元いっぱいまで、空気が入らない状態になるまで水を入れしっかり締めてください。

日の当たらない涼しいところでは、3日間程度、冷蔵庫の中では1週間を目安に水を入れ替えてください。

日の当たらない場所



冷蔵庫の中



知ってる？ 川西市の応急給水場所

川西市では災害により水道が寸断された場合を想定して、応急給水場所を設けています。最寄りの場所を確認していただき、もしもの場合には応急給水を受けましょう。

応急給水場所	ところ
北陵小学校グラウンド	丸山台 1-3-2
東谷小学校グラウンド	見野 2-30-1
市民運動場	向陽台 1-11-2
清和台南小学校グラウンド	清和台西 5-1-2
明峰小学校グラウンド	萩原台西 3-242
キセラ川西せせらぎ公園	火打 1
久代小学校グラウンド	久代 3-27-9

既存トイレの活用

トイレの水が流れないときは、この方法で使用できます。

活用法

- 便座を上げ、便器の開口部がすっぽり覆われるようにポリ袋をセットします。
- 便座を下ろし、もう一枚のポリ袋をかけ、中にちぎった新聞紙などを入れます。
- 用を足したら、上のポリ袋の口をしばり捨てます。(2～3を繰り返し使います)



簡易給水タンクの作り方

給水拠点に行っても水を入れる物がないと困りますね。そんなときは簡易給水タンクがあれば安心です。

作り方

- 空のリュックに清潔なポリ袋を2～3重にして入れます。
- 給水車からポリ袋の中に直接水を入れます。リュックは自立しないので、必ず手を添えましょう。入れる水の量は両手で持ち上げられる重さを目安です。
- 袋の口を一枚ずつ結び、重さに注意して背負いましょう。



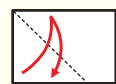
簡易紙コップの作り方

応急給水で水を受けても、コップがないと飲むことはできません。そんなときは簡易紙コップが役に立ちます。

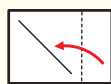
作り方



新聞紙を用意する



1 新聞紙を三角形に折る。折った三角形をひらく。



2 三角形の折りめのはしにあわせて、四角形に折る。(あまったところを切り離してもOK)



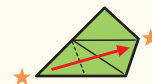
3 はしとはしをあわせ、三角形に折る。



4 ふちとふちをあわせ、折りめをつけもどす。



5 ★と★をあわせるように折る。



6 ★と★をあわせるように折る。



7 上の三角形の部分折る。



8 反対側も同じように折る。



9 上部を広げて形を整えたらできあがり。

最後に、清潔なビニール袋をコップの中に入れて使いましょう。新聞紙がない場合は、チラシや折り紙などでも代用可能です。

